

# Libra

<http://www.tokeikyo.or.jp/kcon/>

Libra Vol. B003  
2006年1月1日発行

発行/岩下貞治 東京都計量器コンサルタント協会  
〒105-0022 東京都港区海岸1-7-4 東京都計量検定所内  
TEL 03-3434-6591 FAX 03-3434-6592

## CONTENTS

- 新たな年 新しい計コンへ-----①
  - 東西計コン合同研修会開催-----①
  - 役員会報告-----①
  - 総会・年間スケジュール-----①
  - 関東甲信越ブロック大会開催-----②
  - 都民計量のひろばに協力-----②
  - 計コン資格取得研修会-----②
  - 計量器の歴史-----②
  - 会員の広場-----②
- 黄綬褒章・感謝状・川柳・イロハかるた

## 明けましておめでとうございます！ 新たな年 新しい計コンへ

会長 岩下貞治



会員の皆様、新年明けましておめでとうございます。旧年中は本会事業へのご協力に対して厚く御礼申し上げます。皆様にとって本年がご繁栄の年でありますよう、ご祈念申し上げます。

さて、改めて申し上げますまでもありませんが、計量のコンサルティング実践こそ

ユーザーより信頼を得るための最大の方策であると思います。

「適正計量と計量の安全は計量器コンサルタントが守ろう！」

届出版売事業者は各メーカーの多機種にわたる計量器を販売しています。各社に在籍するコンサルタントは豊富な計量知識により、適切なコンサルティングを行って供給しています。

コンサルタント有資格者は適正計量のキーマンです。計量器選択の主体はユーザーにあります。適切なコンサルティングによる供給がユーザーの希望を満たすこととなります。

昨年12月に資格取得講習会が開催され、28名の新しい仲間が誕生しました。

新コンサルタント諸氏に特にお願いしたいことがあります。先輩コンサルタント諸氏にもいえませんが、当会が行う年4回程度

の研修会、見学会に是非参加の上、資質向上に向けて研鑽に努めていただきたいと思っております。資格を取得して終わりではありません。

ユーザーの良き相談相手となるためには、技術進歩に対応することが必要になります。研修会参加により新知識を吸収し、消費者利益の確保に役立つコンサルタントになっていただきたい。

本会の各事業担当役員諸氏は事業計画を立案するにあたり、会員皆様に役立つ研修会をと努力しております。計量記念日行事への協力、特に平成12年10月より東京都計量検定所に協力して行っている家庭用健康管理計量器精度確認事業については、コンサルタントの知名度向上に大いに役立つ事業参加であります。

その他の計量思想普及事業にも会組織をあげて計量行政に全面協力を行っております。会員全員が計量のプロ、コンサルタントとしての自覚をもって社会の要望に応え、信頼を得て適正計量と計量の安全に寄与できるように頑張りましょう。

会員皆様へのお願いが年頭のご挨拶になりました。本年もご協力をお願い申し上げます。

## 東西計コン合同研修会開催

皆様、明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

さて、昨年10月14日に実施された東西計量器コンサルタント協会合同研修会には、東京計コンより多数のご参加をいただきありがとうございます。主催者の大阪計コンを代表して厚くお礼申し上げます。

合同研修会では物流のダイフク、懇親会、宿泊、OPゴルフと企画しましたが、いかがでしたでしょうか。

特に『物流のダイフク』工場見学では、屋号と業務内容とがイメージでずいささか不安でしたが、見学して“あらびっくり”。ロジスティックソリューションの最先端技術のスピードには驚きました。目から鱗、鼻から牛乳でしたね。

また、今回は宿泊をかねた懇親会でしたので、より多くの意見交換や友情を深め合うことが出来たことをうれしく思います。

OPのゴルフは大森副会長の優勝で無事？終了しました。今年の合同研修会は東京計コンの主催ですね。大阪計コンより大勢参加しますので、その節はよろしくお祈りいたします。

最後になりましたが、今年も皆様にとって幸多き年でありませうお祈り申し上げます。

大阪府計量器連合会副会長 計コン担当 加賀真一

【訂正】前号にて、「計量証明書」等に有効、と題して計コン資格でISO対応書類が発行できるような書き方をしましたが、それは間違いでした。お詫びして訂正します。



PCIに歓迎と

ロジスティクス総合展示場  
日新館

HINI ARATA KAN  
世界最大規模  
のロジスティクス  
総合展示場



ご来館記念  
2005年10月14日

### <総会・年間スケジュール(予定)>

- ・総会 2月24日(金)
- ・技術研修会 5月
- ・研修見学会 7月
- ・技術研修会 9月
- ・東西計コン研修会 10月

### <平成17年度役員会報告>

- ・第1回 2月 4日(金) 13名 総会準備、その他
- ・第2回 3月23日(水) 12名 新役員構成、その他
- ・第3回 5月12日(木) 14名 技術研修会、その他
- ・第4回 9月16日(金) 13名 東西計コン合同研修会、他
- ・第5回 12月16日(金) 13名 事業報告・決算等取りまとめ方針、次年度計画策定、その他

## 関東甲信越ブロック大会開催

平成17年10月4日(火)、計コンの上部団体である日本計量振興協会の平成17年度関東甲信越ブロック大会が、九段会館にて開催されました。

今年の幹事は東京都ということで岩下会長が実行委員長となり、委員の協力で大会は大いに盛り上がりました。参加者の惜しめない拍手がそれを証明したといえます。

なお、計量各団体から、それぞれの取り組みや要望が発表されましたが、計コンからは近藤理事によって「計量器コンサルタント制度の強化発展と活用を願う」という要望がなされました。それを「日本計量新報」の11月27日号では次のように表現しています。

計量器コンサルタント制度は32年の伝統を持つ販売事業者のための民間資格。販売者の計量知識(法制度、知識)の向上を目指し、永年にわたって資格者を育て、適正な計量器の使用、計量管理上の諸問題についてのユーザーとのコンサルティング活動をビジネスを通して実現してきている。

提案では、「教育については地計協に任せきりというままでは、今後の発展には十分とはいえません」とあり、資格付与団体である日計振のより一層の密度の高い関与、指導、支援を願う、としている。日計振へ要望書を出すことになった。

## 計量器コンサルタント資格取得研修会

12月3日、4日に「第23回計量器コンサルタント資格取得研修会」が芝弥生会館で開かれ、28名の受講者が中味の濃いカリキュラムを熱心に勉強しました。

1. 計量法の概要(新計量法の体系とその内容)
2. 計量器の検定と検査制度(型式承認と検定・検査等JISと検定検査規則)
3. 基礎的計量管理の知識と実際(計量管理の意義と事例)
4. 計量標準の供給制度と国際化の動き(トレーサビリティ体系と基準器の検査等)
5. 量と単位の基礎知識(単位の仕組みと国際的状況)
6. 計量器概論(新しいはかりと最近の技術動向)

講師は、東京都計量協会・横尾明幸、東京計量士会・小櫃健司、日本品質保証機構・内川恵三郎、東京都計量協会・森川正彦の4氏にお願いしました。(敬称略)

研修会終了後、金子副会長によって計コン会員の説明が行われ、その場で入会を表明する者もいました。



## 都民計量のひろば

11月1日(火)、計量記念日の恒例行事である「都民計量のひろば」が、東京都計量検定所が中心となって東京駅地下街で実施されました。

当日、現場に行くと「展示する会場が変更になっていた」というハプニングがありましたが、皆さんの協力によって設営が予定どおり完了し、無事にお客様を迎えることができました。

特に新しい試みであった「自分の血流が見られる」コーナーは大人気で、長い行列が出来るほどでした。

なお、当会からは役員12名が参加し、それぞれの持ち場で活躍して会場を盛り上げました。



## 計量器の歴史③——基準ガラス製温度計

ガラス製温度計等の示度検査に用いるこの温度計には、氷点(0℃)目盛があります。

目盛範囲が0~50℃は当然ですが、これ以外の範囲、例えば50~100℃、あるいは100~150℃など範囲を測るこの温度計にも氷点目盛を施してあります。

また、計量法基準器検査規則でも0℃の温度を表す目盛を付さなければならないと規定し、その器差の検査はその温度計の最高温度、最低温度及び0℃の目盛線並びに任意の一以上の目盛線について行うとしています。そして、0℃についての器差の値も基準器検査成績書に記載します。

この0℃の目盛は、なぜあるのでしょうか？

基準ガラス製温度計の性能をチェックする方法のひとつとしてこの0℃を確認

することで出来ます。方法は氷(蒸留水が望ましい)をかき氷にしてポットなどに入れて氷と溶けた水の状態にします。ここへ基準ガラス製温度計を零度の目盛まで浸し0℃を測ることに依ります。さらには基準器検査成績書と突き合わせすることで確認できます。このように、0℃目盛の重要な用途は経年変化の検出により成績書記載の補正を行って使用する為のものになります。

温度計研究家 横田賢次郎



## 会員の広場

### ◇黄綬褒章◇

当会副会長の大森健次氏(共栄衡器社長)が黄綬褒章を受章されました。おめでとうございます。



### ◇感謝状◇

当会理事の近藤正孝氏(株三友産業社長)が、計量記念日に東京都文化局長感謝状を受けられました。おめでとうございます。



俳句・川柳  
募集中

五・七・五 で遊びませんか。  
お題は自由です。

リタイアをすると景色が違う街 ○ B  
毎日が日曜なのも楽じゃない ○ B  
ボーナスが最高だってああ寂びし ○ B

平成計量管理  
「イロハかるた」  
by 横須賀健治

イ) いつもと同じが落とし穴  
ロ) 論議も大事、現場も大事  
ハ) 遥かより、足元からの改善を  
ニ) にちにちの管理が利益を積みあげる  
ホ) 本物志向は重点的に